

## 「栃木県地域福祉支援計画（第3期）」の進捗状況について

H30.3.2 保健福祉課

○「栃木県地域福祉支援計画（第3期）」では計画の進捗管理を図るため、以下の7つの数値目標を設定しています。

○平成29年度末の達成状況（見込み）は、目標値を達成した項目が2項目、未達成の項目が5項目となりました。

○数値目標一覧

施策	施策の内容	数値目標項目		H27年度	H28年度	H29年度	達成有無	H30年度	H31年度	H32年度	該当頁
施策1 お互いに支え合える地域づくり	(2)地域の課題に対応する相談・支援体制の充実	1 生活困窮者自立支援制度における新規相談受付件数（人口10万人当たりの件／月）	目標値	11.5 件／月	13.5 件／月	15.0 件／月	△	16.5 件／月	18.0 件／月	20.0 件／月	30
			実績値		10.8 件／月	8.9 件／月		—	—	—	
	(3)災害に備えた取組の促進	2 避難行動要支援者個別計画策定率	目標値	12% (3/25市町)	32% (8/25市町)	52% (14/25市町)	△	72% (18/25市町)	88% (22/25市町)	100% (25/25市町)	34
			実績値		36% (9/25市町)	40% (10/25市町)		—	—	—	
	(4)ひとにやさしいまちづくりの推進	3 栃木県ひとにやさしいまちづくり条例適合施設数	目標値	1,531 施設	1,630 施設	1,700 施設	△	1,770 施設	1,840 施設	1,910 施設	38
			実績値		1,562 施設	1,578 施設		—	—	—	
施策2 地域福祉を支えるひとづくり	(2)地域住民等による社会貢献活動の充実	4 ボランティアコーディネーターの市町配置率	目標値	64% (16/25市町)	72% (18/25市町)	80% (20/25市町)	○	88% (22/25市町)	96% (24/25市町)	100% (25/25市町)	47
			実績値		72% (18/25市町)	80% (20/25市町)		—	—	—	
施策3 地域福祉推進の基盤づくり	(1)地域福祉の計画的な推進	5 市町村地域福祉計画の策定	目標値	80% (20/25市町)	84% (21/25市町)	88% (22/25市町)	△	92% (23/25市町)	96% (24/25市町)	100% (25/25市町)	54
			実績値		84% (21/25市町)	84% (21/25市町)		—	—	—	
		6 地域福祉活動計画の策定	目標値	80% (20/25市町)	84% (21/25市町)	88% (22/25市町)	○	92% (23/25市町)	96% (24/25市町)	100% (25/25市町)	54
			実績値		88% (22/25市町)	88% (22/25市町)		—	—	—	
	(6)福祉サービスの質の向上	7 第三者評価受審事業者数（高齢・障害分野）※	目標値	29事業者	50事業者	70事業者	△	90事業者	110事業者	130事業者	72
			実績値		34事業者	34事業者		—	—	—	

※達成状況の区分……………○目標値達成、△目標値未達成

※第三者評価受審事業者数…同一事業者が複数回受審した場合は、1事業者としてカウントしている。

## 2 施策ごとの実施状況

- (1) 生活困窮者自立支援制度における新規相談受付件数（人口 10 万人当たりの件／月）  
（平成 29 年 4 月～平成 29 年 12 月末）

### 現状

平成 27 年 4 月から、生活困窮者自立支援法が施行され、法に基づく自立相談支援機関が各福祉事務所単位で設置されています。自立相談支援機関には、相談支援員や就労支援員が配置され、多様かつ複合的な課題を抱える相談者に寄り添いながら、他の専門機関と連携して、課題の解決に向けた支援を行っています。

生活困窮者の多くは、地域や社会から孤立しがちであり、自力では相談窓口につながりにくいという現状も見られることから、民生委員や関係機関との協働により、制度の更なる周知が必要と考えられます。

自立相談支援機関	対象地域人口 (H28.1.1)	新規相談受付 (H28年度実績)	新規相談受付 (H29年4～12実績)	
				人口10万人あたり
県東健康福祉センター	66,042	122	87	11.0
益子町	24,034	45	28	9.7
茂木町	13,908	36	26	15.6
市貝町	12,145	22	18	12.4
芳賀町	15,955	19	15	7.8
県南健康福祉センター	97,158	172	127	10.9
上三川町	31,454	71	54	14.3
壬生町	39,858	40	28	5.9
野木町	25,846	61	45	14.5
県北健康福祉センター	85,689	157	126	12.3
塩谷町	12,051	18	13	9.0
高根沢町	29,878	72	64	17.9
那須町	26,155	33	14	4.5
那珂川町	17,605	34	35	16.6
県実施(町分)合計	248,889	451	340	11.4
市合計(宇都宮市含む)	1,749,975	2,149	1,793	8.5
県内合計(宇都宮市含む)	1,998,864	2,600	2,133	8.9

出典：県調べ

### 今後の取組

県では、制度が広く利用されるよう、広報用リーフレットの作成等により、制度の周知を図るほか、アウトリーチ活動を促進し、積極的に生活困窮者を支援していきます。また、支援員向け研修の実施により、支援員の質の向上に努めていきます。

(2) 避難行動要支援者個別計画策定率 (平成 29 年 6 月 1 日現在)

現状

平成 25 年 6 月の災害対策基本法の一部改正により、各市町村において避難行動要支援者名簿の作成が義務づけられ、また、避難行動要支援者一人ひとりの具体的な避難方法等を定めた、個別計画の策定が求められることとなりました。

個別計画の策定が進んでいかない要因としては、個別計画作成後の支援者への情報提供について要支援者から同意が得られないことや、その策定が義務ではないことなどが考えられます。

市町名		避難行動要支援者名簿の作成	個別計画の策定	○・・・策定済 △・・・策定中
1	宇都宮市	○	○	
2	足利市	○	△	
3	栃木市	○	△	
4	佐野市	○	○	
5	鹿沼市	○	○	
6	日光市	○	○	
7	小山市	○	○	
8	真岡市	○	△	
9	大田原市	○	△	
10	矢板市	○	○	
11	那須塩原市	○		
12	さくら市	○		
13	那須烏山市	○	△	
14	下野市	○	○	
15	上三川町	○	○	
16	益子町	○	○	
17	茂木町	○	△	
18	市貝町	○	△	
19	芳賀町	○		
20	壬生町	○	△	
21	野木町	○	○	
22	塩谷町	△		
23	高根沢町	△		
24	那須町	△		
25	那珂川町	○		
		22(88%)	10(40%)	

出典：県調べ

今後の取組

県では、市町職員等を対象とした研修会を開催し、先行事例の紹介や市町間の情報共有を図るほか、各種機会を捉えて、個別計画策定の意義・必要性等を伝えていくとともに、個別計画を策定する上で課題となっている個人情報の取り扱いについても共通認識を図るなど、市町の避難行動要支援者に対する個別計画の策定を促進していきます。

(3) ひとにやさしいまちづくり条例適合施設数（平成 30 年 1 月末時点）

現状

高齢者や障害者、妊産婦、子どもなどを含めた全ての県民が、安全で快適な日常生活を営めるよう公共的施設(※)のバリアフリー化を推進しています。公共的施設の新築、増築、改築などの際には、土木事務所など建築確認申請窓口において、ひとにやさしいまちづくり条例の整備基準に適合するよう指導・助言を行っています。これは、罰則により強制するのではなく、指導助言を通じ、事業者や県民の理解と協力を得ようとするものです。

2020 年東京オリンピック・パラリンピック大会や本県での国体、全国障害者スポーツ大会の開催に向け、今後、県内でも公共的施設の改築等が増加することが予想されるため、条例の一層の普及啓発が重要になると考えられます。

【ひとにやさしいまちづくり条例 適合施設数】

	取扱機関	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
県	宇都宮土木事務所	8	8	5	10	3	1	1
	真岡土木事務所	3	2	10	4	6	5	1
	栃木土木事務所	6	12	13	10	4	0	7
	大田原土木事務所	15	9	5	5	6	0	4
	保健福祉課		1	2	1	1	2	3
権限移譲済み市町 (※移譲時期)	足利市(H12.10～)		1	2	2	1	2	市所管区域分の件数については4月以降照会予定
	栃木市(H13.10～)	6	2	11	13	12	3	
	佐野市(H16.4～)	6	3	6	7	3	1	
	鹿沼市(H13.10～)	10	2	7	2	1	2	
	日光市(H21.4～)	3	2	4	1	1	5	
	小山市(H12.10～)	8	7	7	5	4	4	
	那須塩原市(H18.4～)	12	4	11	9		2	
	大田原市(H24.4～)	4	4	1	2	1	4	
	適合施設数 計	81	57	84	71	43	31	16

※「公共的施設」とは、病院、劇場、集会場、百貨店、官公庁の庁舎、公園、道路、公共交通機関の施設その他の不特定かつ多数の者が利用する施設を指します。

平成 12～29 年度  
適合施設数 累計

1,578

出典：県調べ

今後の取組

県のホームページ等を通じて、栃木県ひとにやさしいまちづくり条例に関する普及啓発を行うほか、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律を踏まえ、整備基準の見直しについて検討していきます。

(4) ボランティアコーディネーターの市町配置率（平成 29 年度末見込み）

現状

県民一人ひとりが福祉に対する理解を深め、自らが福祉活動の担い手として積極的にボランティアとして活躍できるような環境整備に取り組んでいます。

ボランティアコーディネーターは、ボランティアを必要とする人と活動したい人とのマッチングを行うほか、プログラムの開発、ボランティアグループの支援などを行っています。

ボランティアコーディネーターを専任で配置するための予算や人材が確保できず、未設置となっている市町もあります。

市町名	ボランティアコーディネーター配置の有無		
	市町社協	行政設置（市町社協以外）	
1 宇 都 宮 市	○	○	宇都宮市まちづくりセンター まちびあ
2 足 利 市	○	○	足利市民活動センター
3 栃 木 市	○	○	とちぎ市民活動推進センター くらら
4 佐 野 市	○	○	佐野市市民活動センター ここねっと
5 鹿 沼 市	○	○	かぬま市民活動広場 ふらっと
6 日 光 市	○	○	日光市民活動支援センター
7 小 山 市		○	小山市市民活動センター
8 真 岡 市		○	真岡市市民活動推進センター コラボレーレもおか
9 大 田 原 市	○		
10 矢 板 市	○		
11 那 須 塩 原 市	○		
12 さ く ら 市			
13 那 須 烏 山 市	○		
14 下 野 市	○	○	下野市生涯学習情報センター
15 上 三 川 町	○		
16 益 子 町			
17 茂 木 町	○		
18 市 貝 町	○		
19 芳 賀 町	○		
20 壬 生 町	○	○	壬生町町民活動支援センター みぶりん
21 野 木 町		○	野木町ボランティア支援センター きらり館
22 塩 谷 町			
23 高 根 沢 町			
24 那 須 町	○		
25 那 珂 川 町			
20 (80%)			

出典：県調べ

今後の取組

各種機会を捉えて、ボランティアコーディネーターの意義・必要性等を伝えるとともに、兼任で職員を配置している市町の紹介や、国庫補助の積極的な活用を呼びかけるなど、市町におけるボランティアコーディネーターの配置を促進していきます。

## (5) 市町村地域福祉計画の策定

## (6) 地域福祉活動計画の策定

## 現状

市町村地域福祉計画は、市町がそれぞれの地域の実情に応じた地域福祉の実現を自主的かつ積極的に図るための基本となる計画です。同様に、市町村社会福祉協議会等が作成する地域福祉活動計画も、行政が作成する市町村地域福祉計画と連携・補完の関係にある重要な計画です。

今般の法改正により、市町村地域福祉計画は、福祉各分野の共通事項を記載したいわゆる「上位計画」として位置づけられるとともに、策定が努力義務化されており、「地域共生社会」の実現という観点からも、策定の意義・重要性が高まっています。このように大きな法改正があったことから、今年度新たに策定した町がなかったものと考えられます。

		【市町】 市町村地域福祉計画策定状況				【市町社協】 地域福祉活動計画策定状況			
市町名		29年度末 策定済み(見込)		30年度以降 策定(改定)予定	30年度以降 策定(改定)予定	29年度末 策定済み(見込)		30年度以降 策定(改定)予定	30年度以降 策定(改定)予定
			改定済み				改定済み		
1	宇都宮市	○	15年度	19,24,29年度	34年度末	○	17年度	21,24,29年度	34年度末
2	足利市	○	19年度	24,28年度	33年度末	○	19年度	24,28年度	33年度末
3	栃木市	○	16年度	26年度	31年度末	○	19年度	26年度	31年度末
4	佐野市	○	20年度	25年度	30年度末	○	20年度	25年度	30年度末
5	鹿沼市	○	18年度	23,28年度	33年度末	○	19年度	24年度	29年度末
6	日光市	○	21年度	27年度	32年度末	○	21年度	27年度	32年度末
7	小山市	○	17年度	22,27年度	32年度末	○	24年度	27年度	32年度末
8	真岡市	○	24年度	28年度	33年度末	○	24年度	28年度	33年度末
9	大田原市	○	20年度	25年度	30年度末	○	20年度	25年度	30年度末
10	矢板市	○	24年度	29年度	34年度末	○	24年度	29年度	34年度末
11	那須塩原市	○	18年度	23,28年度	33年度末	○	20年度	28年度	33年度末
12	さくら市	○	23年度	28年度	33年度末	○	24年度		29年度末
13	那須烏山市	○	19年度	24年度	29年度末	○	19年度	24年度	29年度末
14	下野市	○	23年度	28年度	33年度末	○	26年度	28年度	33年度末
15	上三川町	○	18年度	28年度	38年度末	○	19年度	28年度	38年度末
16	益子町								30年度末
17	茂木町				30年度末				30年度末
18	市貝町	○	26年度	29年度	32年度末	○	28年度		32年度末
19	芳賀町	○	26年度		31年度末	○	26年度		31年度末
20	壬生町	○	26年度		30年度末	○	26年度		30年度末
21	野木町	○	28年度		33年度末	○	28年度		33年度末
22	塩谷町								
23	高根沢町				31年度末	○	20年度		31年度末
24	那須町	○	17年度	22,27年度	32年度末	○	17年度	22,27年度	32年度末
25	那珂川町	○	22年度	27年度	32年度末	○	22年度	27年度	32年度末
		21	84%	—		22	88%		

出典：県調べ

## 今後の取組

県では、市町や市町社協職員を対象とした「地域福祉推進セミナー」を開催し、計画策定の意義、具体的な策定・推進方法を情報提供するとともに、各種機会を捉え、今般の法改正の内容・趣旨等を伝えていき、市町及び市町社会福祉協議会の計画策定を促進していきます。

(7) 第三者評価受審事業者数（平成 29 年度末見込み）

現状

福祉サービス第三者評価とは、社会福祉事業者が提供するサービスの質を、当事者（事業者及び利用者）以外の公正中立な第三者機関（評価機関）が専門的かつ客観的な立場から評価するものです。事業者は、受審を通じて事業運営における課題を把握し、サービスの質の向上につなげます。また、評価結果が公表されますので、利用者が事業者を選択するための情報として役立ちます。

第三者評価受審に当たっては、書類作成や職員間の理解統一など、事前準備が必要である一方、受審のメリットや効果が見えづらいといったことが課題と考えられます。

福祉サービス第三者評価受審事業所数

種別 年度	高齢者福祉施設	障害者福祉施設	児童福祉施設		計
			保育所	社会的養護施設※	
平成 20 年度 以前	6	4	11	0	21
平成 21 年度	3	2	3	2	10
平成 22 年度	0	0	7	4	11
平成 23 年度	0	0	6	2	8
平成 24 年度	1	0	7	0	8
平成 25 年度	3	0	19	7	29
平成 26 年度	0	0	13	13	26
平成 27 年度	3	15	12	1	31
平成 28 年度	2	7	9	3	21
平成 29 年度	1	0	3	2	6
累計	19	28	89	34	164
事業者累計	15	19	→34 事業者		

出典：「とちぎ福祉サービス第三者評価推進機構」調べ

※社会的養護施設（児童養護施設、乳児院等）については、子どもが自ら利用する施設を選ぶことのできない措置施設であること等から、平成 24 年度から 3 年に 1 回以上の第三者評価の受審及び評価結果の公表が義務付けられています。

今後の取組

県が運営を支援している「とちぎ福祉サービス第三者評価推進機構」において、評価機関の認証や、評価担当者の養成研修を実施するとともに、シンポジウムの開催、啓発資料の発行のほか、推進機構等と連携し、受審促進に向けた取組を進めていきます。